県道中間水巻線（遠賀・水巻・中間工区）ができるまで

❶ 事業の概略説明

概略の図面で計画した基本設計で地元の関係者の方々に説明します。

❷ 測量

関係者の了解を得て、現地の測量及び地質等を調査して、現地の状況を把握します。

❸ 道路実施設計

現地調査の結果に基づき、詳しい道路の設計を行います。

❹ 設計説明・協議

出来上がった設計図を基に、地元関係者の方と道路の高さ、取付道路等の内容について協議します。

❺ 用地幅杭設置

設計協議の了解を頂ければ、現地に道路用地として必要な幅を明示する用地幅杭を設置します。

❻ 用地調査（用地測量と物件調査）

用地幅杭を設置したあと関係者と立会のうえ境界を確認し、一筆毎の用地測量や建物等物件の調査をします。

❼ 用地説明・協議

関係者と用地買収、家屋移転等について協議します。

❽ 用地買収（調印と登記手続）

地権者の皆様と協議の了解が得られたら契約調印のうえ、登記手続と補償金の支払いをします。

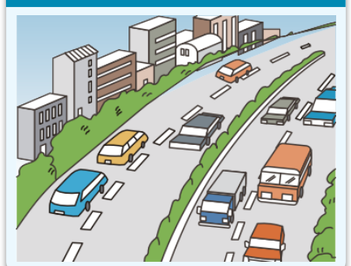
❾ 工事説明

工事中に御迷惑をおかけしないように工事の進め方、工事中の交通処理等について説明します。

❿ 工　事

工事中でも乗入口等について調整します。

⓫ 道路の開通



・・・以上です。

御協力よろしくお願いします。

お問合せ先 **福岡県 北九州県土整備事務所 道路課　建設係**

〒807-0831 北九州市八幡西区則松3丁目7番1号　TEL 093-691-2736　FAX 093-691-2921

令和6年12月

遠賀町水巻町広域連絡道路

県道中間水巻線

遠賀・水巻・中間工区

福岡県 北九州県土整備事務所

空中写真 2021年10月24日撮影（国土地理院）を加工して作成

計画概要

県道中間水巻線遠賀・水巻・中間工区（遠賀町水巻町広域連絡道路）は、交通が集中し、混雑が発生している遠賀川東西の連絡を円滑にするとともに、大動脈である国道３号の代替機能を有する道路です。

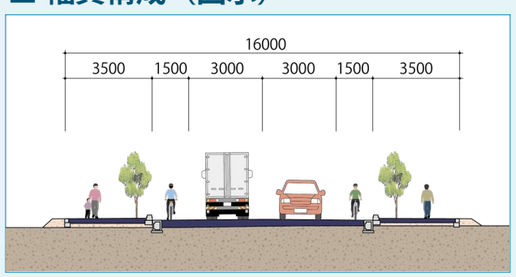
新たな遠賀川渡河橋を含むこの道路を整備することにより、交通機能の強化、地域間交流の促進による地域活性化が図られます。

■ 位置図

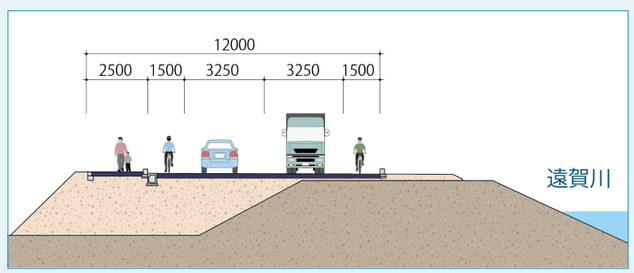
■ 計画諸元

路線名	県道中間水巻線
事業区間	起点：福岡県遠賀郡遠賀町大字老良 終点：福岡県中間市岩瀬西町
事業延長	約 3.1 k m
規格・ 計画幅員	一般部（水巻町・中間市）4種2級 6.0 (16.0) m 堤防道路部（遠賀町） 3種2級 6.5 (12.0) m 橋梁部（遠賀川渡河部） 3種2級 6.5 (14.5) m
事業着手年度	令和5年度

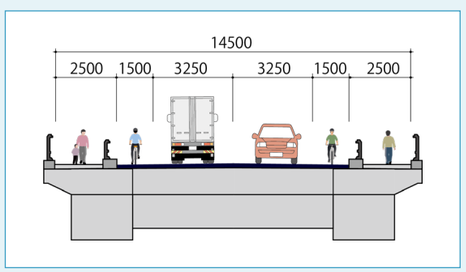
■ 幅員構成（図示）



一般部（水巻町・中間市）



堤防道路部（遠賀町）



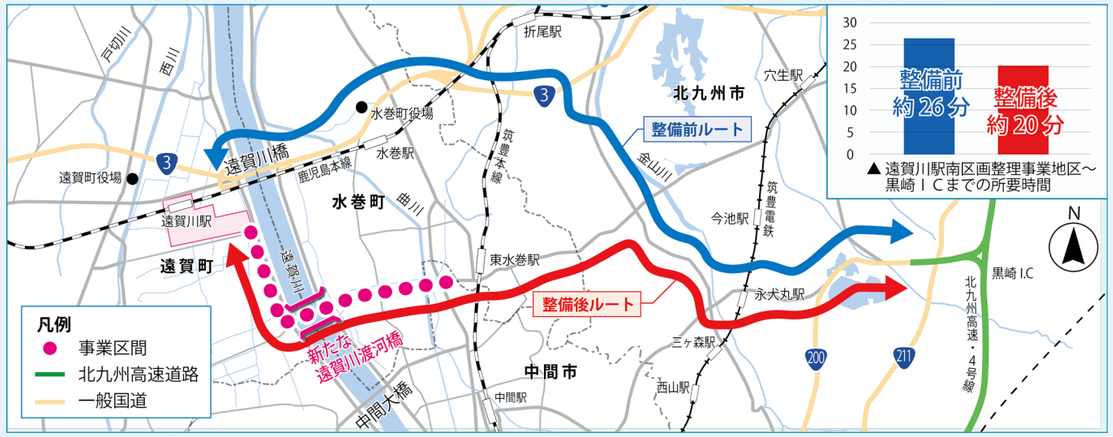
橋梁部（遠賀川渡河部）

主な整備効果

■ 交通機能の強化

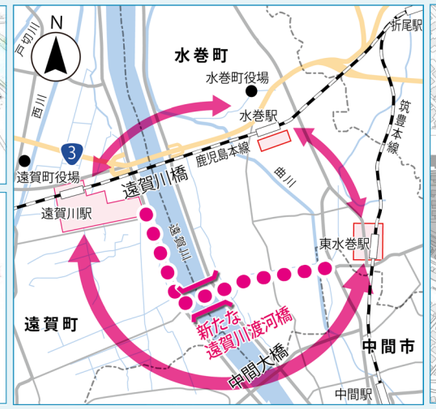
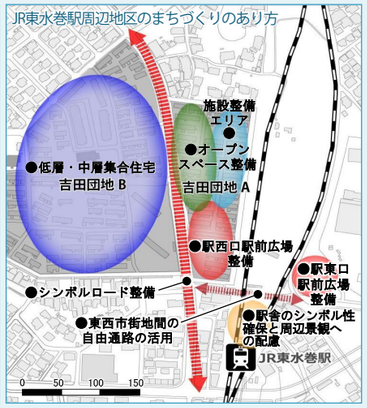
交通の分散化による道路ネットワークの強化と、交通混雑の緩和が図られるとともに、高速道路への所要時間が短縮され、物流の効率化が期待されます。

【（例）遠賀川駅～北九州高速 (黒崎 IC) の所要時間 : 約 6 分、25%程度短縮 】



■ 地域の活性化

遠賀町・水巻町の開発拠点へのアクセス性が向上し、地域間の交流が促進されることにより、地域の活性化が図られます。

遠賀川駅南地区整備イメージ

水巻駅南口整備イメージ